

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	草津市域における総合的な減災対策の推進（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和02年度（3年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	草津市												
計画の目標	大雨による家屋等の浸水被害の軽減と未然防止を図るため、雨水排水路の整備を進め、水害に強い都市を作り、安心・安全な暮らしを実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,158	A	1,140	B	0	C	18	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	1.55	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30	H31末	R2末
1	下水道による都市浸水対策達成率を19%（H28）から21%（R2）に増加。 都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合を19%（H28）から21%（R2）に増加。 下水道による都市浸水対策達成率（%）＝（概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積（ha）） / （都市浸水対策を実施すべき区域の面積（ha）） 3023.3ha	20%	20%	21%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
下水道による都市浸水対策達成率の目標値は、「草津市域における総合的な減災対策の推進（防災・安全）」の合算値とする。														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	草津市	直接	草津市	管渠(雨水)	新設	矢橋第2排水区	雨水渠 3,000×1,000 L=10 0m	草津市						134	-	
	A07-002	下水道	一般	草津市	直接	草津市	管渠(雨水)	新設	新浜第2排水区	雨水渠 1,400×1,000 L=60 m	草津市							17	-
	A07-003	下水道	一般	草津市	直接	草津市	管渠(雨水)	新設	狼川第6排水区	雨水渠 1,600×1,000 L=18 0m	草津市							99	-
	A07-004	下水道	一般	草津市	直接	草津市	管渠(雨水)	新設	北川第3排水区	雨水渠 600~700 L=200 m	草津市							15	-
	A07-005	下水道	一般	草津市	直接	草津市	管渠(雨水)	新設	北川第6排水区	雨水渠 1,600×1,100 L=85 m	草津市							51	-
	A07-006	下水道	一般	草津市	直接	草津市	管渠(雨水)	新設	伊佐々川第3排水区	雨水渠 900×900 L=240m	草津市							66	-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	草津市	直接	草津市	管渠(雨水)	新設	新草津川右岸第2排水区	雨水渠 1,500 L=80m	草津市						22	-	
	A07-008	下水道	一般	草津市	直接	草津市	管渠(雨水)	新設	新草津川左岸第2排水区	雨水渠 1,500×1,500 L=150m	草津市						94	-	
	A07-009	下水道	一般	草津市	直接	草津市	管渠(雨水)	新設	新草津川左岸第4排水区	雨水渠 1,100~1,350 L=1,200m	草津市						516	-	
	A07-010	下水道	一般	草津市	直接	草津市	管渠(雨水)	新設	新草津川右岸第2排水区他	調査、設計、用地買収	草津市						107	-	
	A07-011	下水道	一般	草津市	直接	草津市	管渠(雨水)	新設	効率的な施設計画の見直し	施設計画の見直し	草津市						18	-	
	A07-012	下水道	一般	草津市	直接	草津市	管渠(雨水)	新設	伊佐々川第10排水区	設計	草津市						1	-	
										小計						1,140			

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
											合計						1,140		

C 効果促進事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	C07-001	下水道	一般	草津市	直接	草津市	-	-	ハザードマップ作成	洪水・内水ハザードマップの作成	草津市						18		-
ハザードマップにより、災害時における住民の適切な対応を促し、浸水被害の軽減を図る。																			
											小計						18		
											合計						18		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

<p>事後評価の実施体制</p> <p>草津市上下水道事業運営委員会にて、事後評価を実施</p>	<p>事後評価の実施時期</p> <p>・令和4年11月9日</p> <p>公表の方法</p> <p>・草津市のホームページに掲載する</p>
--	---

事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>・各排水区において雨水渠整備を実施し、概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して、安全である区域を増やすことが出来た。</p>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	<p>・効果促進事業において洪水・内水ハザードマップを作成したことで、浸水危険箇所や避難経路・避難場所が市民に周知されるとともに、浸水被害の軽減に対する自助・共助の意識向上に寄与することができた。</p> <p>・また、「草津市建築物の浸水対策に関する条例」と連携することで、建築物およびその利用者の被害を未然に防止し、市民が安心して暮らすことができる安全なまちづくりに寄与することができた。</p>

特記事項（今後の方針等）

<p>・都市浸水対策に向けて、一級河川や道路整備と整合を図りながら、計画的に雨水整備事業を実施する。</p> <p>・継続計画となる「草津市域における総合的な減災対策の推進（防災・安全）（重点計画）（その2）」において雨水排水路の整備を進め、水害に強い都市を作り、安心・安全な暮らしを実現する。</p>

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	21%
	最終実績値	20%
		・雨水整備工事を進め、おおむね目標を達成した。